

FALプロジェクト概要



こども

テーマ

子どもの自然体験教室のサポーター

連携先

ポレポレランド

主な活動場所

ポレポレランド 京都府京田辺市
*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

こどもエコクラブ、自然体験、エコロジー、アグロエコロジー、農業

活動内容 概要

子ども(主として小学生)の自然体験をサポートする。子どもたちとともに自然体験をする
とともに、その準備、後片付けなども行う。

活動の目的

求める人材像

子どもの自然体験教室に興味がある人。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

▶ 自然観察、簡単な農業作業の方法など

FALプロジェクト概要



こども

テーマ

子ども食堂における子どもと交流

連携先

SHO-HEI!! 子ども食堂

主な活動場所

葛原集会所(摂南大学寝屋川キャンパスから徒歩15分)
*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

子どもの貧困、子どもの居場所、子ども食堂

活動内容 概要

子ども食堂に来る子供たちと交流する。

活動の目的

子ども食堂に来る子供たちと交流し、
子どもの貧困問題、子どもの居場所がない実態などを認識する。

求める人材像

子どもの問題に関心がある。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 子どもを通じて現代社会の問題点の把握ができる。

FALプロジェクト概要



こども

テーマ

「子どもが輝ける地域づくり」に取り組む

連携先

交野市福祉総務課、社会福祉法人交野市社会福祉協議会

主な活動場所

大阪府交野市

*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

子ども、居場所、福祉教育、地域共生社会

活動内容 概要

みんなが支え合い、だれもが活躍できる地域（地域共生社会）の実現を目指し、とくに「子ども」を対象とした活動に取り組みます。具体的には、市全体および市内の各地区（校区）において夏休み期間中に実施される子どもの居場所づくり活動の運営補助のほか、小学校を中心に実施される福祉教育（地域共生社会の担い手を育てるための取り組み）の企画および運営を行います。

活動の目的

- ・それぞれの地域の想いを理解し、活動に真摯に取り組む
- ・子どもたちが地域を知り、地域を好きになるきっかけとなる場を企画、運営する
- ・地域共生社会の実現に向けて大学生にできることを考え、実践する

求める人材像

- ・他者の想いに耳を傾け、寄り添いながら行動できる方
- ・「子どもの居場所」「子どもが輝ける地域」に関心のある方
- ・よりよい地域の姿について考え、実践できる方

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 多様な価値観、境遇を想像し、それらに寄り添う力
- ▶ 人や組織の「強み」を把握し、その活用方法を発想する力
- ▶ 他者（とくに子ども）の立場から最善の行動について考え、実践する力

FALプロジェクト概要



こども

テーマ

学校へいけない・いかない子たちの居場所をつくる

連携先

社会福祉法人 有田市社会福祉協議会

主な活動場所

和歌山県有田市、オンライン

*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

不登校児童・生徒支援、居場所、オンライン／対面交流、社会とのつながり

活動内容 概要

学校へいけない・いかない子たちとのオンライン(仮想空間)、対面を併用した交流を通じて、社会とのつながり、居場所づくりに取り組む。その過程で、地域のさまざまな主体、他大学の学生と協働しながらイベントの企画・運営を行う。

活動の目的

- ・学校へいけない、いかない子たちの想いを理解する
- ・それぞれの想いに寄り添う居場所づくりに取り組む
- ・地域に存在するさまざまな生きづらさに視野を広げた活動に取り組む

求める人材像

- ・学校へいけない、いかない理由はさまざまです。
- ・多様な価値観、趣味や特技をもった方に参加していただき、学校へいけない、いかない子たちと社会をつなぐ架け橋になってもらいたいと思います。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 多様な価値観、境遇を理解、想像し、寄り添う力
- ▶ 社会資源を活用して課題解決に取り組む力
- ▶ 想像し、考えたことを行動に移す力

FALプロジェクト概要



こども

テーマ

子どもの声を聴く仕事—困難な状況にある子どもを支援する現場を知る—

連携先

司法面接トレーナーの会 / 司法面接支援室

主な活動場所

- ①子どもから話を聴く現場への訪問
(2025年度は大阪家庭裁判所庁舎見学と家裁調査官/事務官との座談会を予定)
 - ②研修で使用する動画の撮影地(学内、または大阪府内で履修者と相談の上決定)
- *学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

児童虐待、被害者支援、離婚と子ども、子どもの権利(意見表明権)、動画作成

活動内容 概要

- ・「こども基本法」の制定や「こども家庭庁」の設置から、「子どもの権利」への関心が高まっており、様々な場面で子どもの声を聴くこと(意見表明権)の重要性が強調されている。しかし、子どもの声を聴くことは簡単ではなく、特に児童虐待や犯罪に巻き込まれた子ども、両親の離婚や非行問題などに関与した子どもから話を聴くことは大変難しく、特別な聴き取りが必要とされる。そのため、そのような子どもたちに対応する警察や児童相談所、家庭裁判所では子どもから話を聴くための特別な研修を実施している。
- ・本プロジェクトでは、子どもの声を聴くための取り組みや仕事の実地を知り、子どもから適切に話を聴くことにつながるより良い研修ができるよう、研修で使用する動画作成を通して、学生の立場から支援を行う。

活動の目的

- ①児童虐待や犯罪被害、両親の離婚や非行問題などに関わる子ども支援の実地について知り、学生の立場から取り組みに対する意見を伝える。
- ②子どもから適切に話を聴く研修に使用する動画を作成・提供し、子どもから話を聴く取り組み(子どもの意見表明権の保障)を学生の立場から支援する。

求める人材像

- ・児童虐待や、被害者支援、離婚と子ども、非行、子どもの権利擁護に関心がある学生
- ・警察官、児童相談所職員、家庭裁判所職員や教員を志望する
(または、それらの仕事に関心がある)学生、子どもと関わる仕事に興味のある学生

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 子どもの声を聴き、適切に関わるための知識とコミュニケーション力
- ▶ 児童虐待や犯罪被害者支援、離婚や非行問題などに関わる様々な施策や支援、それらを担う専門職に関する知識

FALプロジェクト概要



子ども

テーマ

子どもたちの「自己実現」にともに取り組み

連携先

NPO法人ろーたす

主な活動場所

NPO法人ろーたす(大阪市住吉区)

*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

不登校、引きこもり、フリースクール、居場所づくり、自立支援

活動内容 概要

不登校・引きこもり・困窮世帯などの子どもたちを対象に、フリースクール、居場所づくり、無料の学習支援、夕食提供、地域イベントの企画・運営などに専門知識をもった法人スタッフ、他大学のボランティアスタッフとともに取り組みます。

活動の目的

- ・子どもたちの想いに寄り添いながらそれぞれのイベント、活動に取り組む
- ・不登校、貧困、人間関係の希薄化といった社会課題に実践を通じて理解する
- ・スタッフ、他大学生と協働しながら子どもの「自己実現」をサポートする

求める人材像

子どもに元気と勇気と希望を与えられる人!

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 大学ではできない経験が得られる
- ▶ 志を同じくした仲間に出会える
- ▶ 社会課題に直接アプローチできる